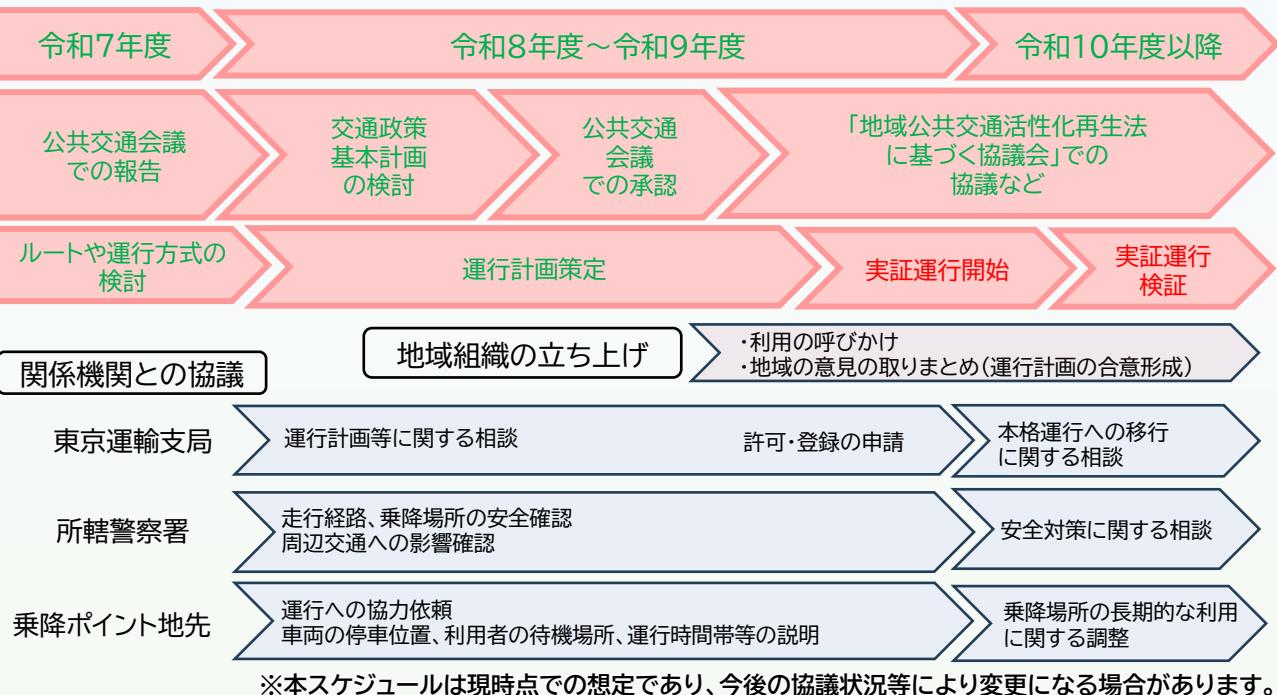
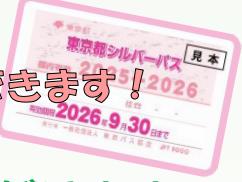


今年度の到達点とこれからの方向性(案)



東京都シルバーパスの「利用者負担の軽減」のお知らせ
 これまで20,510円でしたが、昨年10月から12,000円で購入できます！
 住民税が「非課税」の方は、引き続き1,000円でご利用いただけます。



一人ひとりの利用が、バス路線の維持につながります

現在、バス業界では、運転手不足などにより、減便や運行休止・廃止になる路線があるなど、以前のようなサービスを維持し続けることが困難な状況です。

東新町・小茂根地域は、「池55系統」も減便されており、平日は日中(10時～16時)の便がほぼなくなりました。

これ以上の減便を避ける一つの方法として、皆さんがバスを利用する機会を増やしていただくことが重要です。

例えば、通勤・通学のほか、通院や池袋での買い物の際に利用するなど、外出での利用を心がけることが、バスの運行を支えます。



— アンケートにご協力ください —
 板橋区では、新たな乗物を「利用したい曜日」や「時間帯」についてスマートフォンで答えるアンケートを実施しています。左の二次元コードから回答をお願いします。

連絡先

板橋区 都市整備部 都市計画課 交通企画都市基盤係

TEL:03-3579-2548 FAX:03-3579-5436

Mail: t-koutsu@city.itabashi.tokyo.jp

地域交通検討会の開催内容は、区ホームページに掲載します。 【令和8年3月作成】



東新町・小茂根地域 地域交通検討会 かわら版 第3号

ITABASHI

東新町・小茂根地域での交通や移動について 検討委員の皆さんと交通検討会を実施しました！



検討会対象地域

上板橋駅 川越街道 城北中央公園 環七通り 小竹向原駅

5月・10月に引き続き2月18日に桜川地域センターにて、地域の公共交通の課題について皆さんと共に考え、今後の利活用方法を検討し、実情に合わせた公共交通の補完についてグループ討議を行いました。

●令和7年度開催の地域交通検討会

	開催日時	議題
第1回	令和7年 5月29日（木）19時～	国際興業バス『池55系統』（小茂根五丁目～池袋駅東口）バス減便後の実態と「ちょっと不便」の乗りこなし術 ・地域の交通の現状 ・路線バスの空白時間や空白地域をどう補うか ・この地域らしい「元気な移動」を考える ・班ごとの意見交換（フリーディスカッション）
第2回	令和7年 10月20日（月）19時～	バスと新たな乗物の共存を考える ・新たな乗物の走行について ・地域資源の活用について ・班ごとの意見交換（フリーディスカッション）
第3回	令和8年 2月18日（水）19時～	バスと新たな乗物の共存を考える ・新たな乗物の現実的な選択肢について ・地域資源の活用について事例紹介 ・班ごとの意見交換（フリーディスカッション）

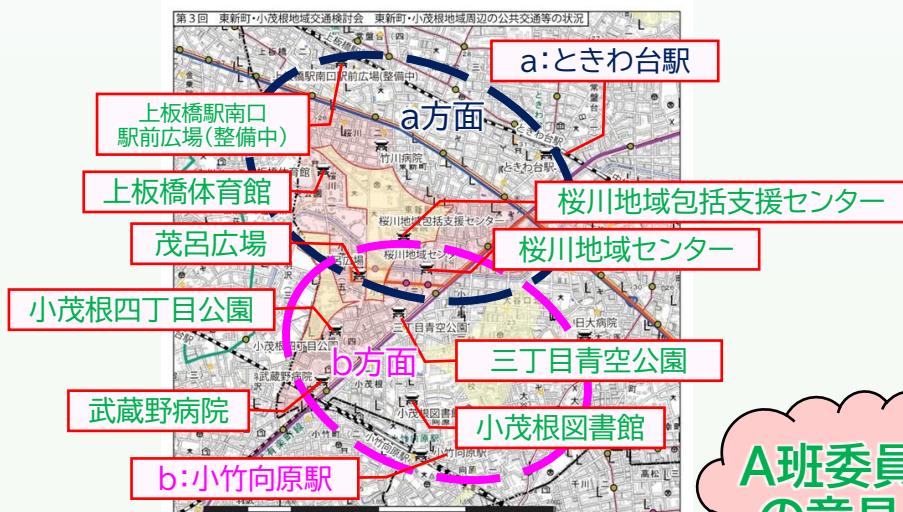
【新たな乗物のイメージ】

- ▶起点:桜川地域センター ▶目的地:a:ときわ台駅 b:小竹向原駅
- ▶運行日:月曜日~金曜日 ▶運行範囲:東新町・小茂根地域
- ▶車両:普通免許二種免許で運行可能なワゴン車両1台(乗客9名程度)
- ▶運行時間帯:午前10時から午後4時台(路線バス空白時間帯)
- ▶運行頻度:1時間に1便程度の頻度で運行する。



議題①新たな乗物の現実的な選択肢

ときわ台駅(a方面)へのアクセスをaコース、小竹向原駅(b方面)へのアクセスをbコース、参考として、その他方面(日大病院)をcコースとして意見交換しました!



A班委員の意見

□使いやすい乗場や時間帯について

- ◆ a:「ときわ台駅方面」についての意見
 - ときわ台駅より駅前広場を整備している上板橋駅が使い勝手が良い。
 - 小茂根五丁目バス停のある茂呂広場は、車両の転回が可能な道幅があり、起点とした運行が望ましい。
- ◆ b:「小竹向原駅方面」についての意見
 - a方面とb方面を1本化して考えれば効率的になる。
- ◆ c:「その他の方面(日大病院)」についての意見
 - 路線バスを利用していくことができる。
- ◆ aかbの方面を比較した時に、利用したい順位
 - ⇒1位:b 小竹向原駅方面 2位:a 上板橋(ときわ台)駅方面



□使いやすい乗場や時間帯について

- ◆ a:「ときわ台駅方面」についての意見
 - 上板橋駅に駅前広場ができて便利になる。
 - 竹川病院・上板橋体育館は利用者が多い予想。
- ◆ b:「小竹向原駅方面」についての意見
 - 上り坂があり高齢者が歩いていくのは大変。
 - ワゴン車で30分でaコースとbコースを回れないか。
- ◆ c:「その他の方面(日大病院)」についての意見
 - 9時台に最寄り駅に出られると病院へ行くのに便利。
- ◆ aかbの方面を比較した時に、利用したい順位
 - ⇒1位:a 上板橋(ときわ台)駅方面 2位:b 小竹向原駅方面

B班委員の意見



□新たな乗物の運営について

- ◎タクシー会社など専門の交通事業者へ委託するのがよい。
 - ◎地域でNPO法人を立ち上げ、交通事業者と協力して運営するのがよい。
- ⇒交通事業者へ委託する運営が良い



□新たな乗物の運行を続けるため地元で出来ることについて

- ◎乗降場所や利用方法などについて、計画段階から提案する。
- ◎運転手不足の場合は、地元住民からも募集する。
- ◎多少不便でも、新たな乗物を使いこなす努力をする。
- ◎収支状況が悪ければ運行の中止もあることを説明し、利用を増やすよう住民に呼びかける。

⇒地元では、提案や運転手募集など運行を続けるための協力をする

□新たな乗物を使ってもらうための利用促進について

- ◎地域センターや町会の掲示板
- ◎無料体験乗車、割引券
- ◎回覧板など
- ◎特に利用してほしい方を対象に、利用を働きかける。
- ◎利用の際に、近所の方や知り合いにも声をかけて乗り合わせる。
- ◎イベントでの試乗
 - ・桜まつり(桜川地域センター)・板パイで利用料金割引
 - ・路線があることを知れば乗る人は増える。
 - ・高齢者には口コミで知ってもらう。



⇒地域の掲示板や体験乗車、割引券などの機会を活用する

□地元で協力しあう可能性について

- ◎地元で運転手の登録は少ないと思う。
- ◎予約が簡単にできるなら利用したい。
- ・事故やトラブルの対応に不安がある。

⇒予約が簡単であれば乗合も利用したい



検討会で見てきたA班とB班の共通の方向性

- ▶第一回検討会
 - ・地域の道路状況や運転手を踏まえると、ワゴン車を使用した相乗り交通を検討することが現実的。
- ▶第二回検討会
 - ・新たな乗物は、桜川地域センターへ行く地域内の交通手段となる。
 - ・幹線道路や駅まで行けば、その先は路線バスや電車に乗り換えていくことができる。
 - ・通院や駅利用を中心に、乗降ポイントを整理した。
- ▶第三回検討会
 - ・午前の時間帯の移動需要が高い。
 - ・東武東上線と東京メトロ有楽町線、副都心線につながる一つのコースとする方向性。
 - ・新たな乗物導入後も継続するには地域で利用して育てていく必要がある。